

平成28年度当初予算 だよ。



市議会 2 月定例会において、平成 28 年度当初予算が原案どおり可決されました。一般会計、特別会計および企業会計予算の総額は、760 億 7,033 万円。前年度と比較し 8 億 8,936 万円、1.2%の増となりました。今必要なものと将来の負担とのバランスをとりながら、中長期にわたり安定的で持続可能な財政運営によって、市に「安全・安心」と「活力」をもたらすための予算としました。 ⑧財政課 36-7123

どう使うの？ 今年の予算！

島田市の家計簿

平成 28 年度一般会計予算を年収 500 万円の家計に例えてみると

収入			支出		
項目	予算科目	金額	項目	予算科目	金額
給料	市税	191 万円	食費	人件費	79 万円
パート収入	使用料など	6 万円	医療費	扶助費	95 万円
親からの仕送り	地方交付税 国庫（県）支出金	210 万円	ローン返済	公債費	65 万円
借金	市債	40 万円	光熱水費などの生活費	物件費	104 万円
貯金の取り崩し	繰入金	16 万円	交際費・習い事代	補助金など	45 万円
諸手当	分担金・負担金	7 万円	子どもたちへの仕送り	繰出金	39 万円
その他	財産収入 寄附金など	30 万円	家の増改築費など	建設事業費	61 万円
合計		500 万円	車や家の維持・修理代	維持補修費	2 万円
			貯金	積立金など	9 万円
			その他		1 万円
			合計		500 万円



染谷絹代 島田市長

島田市には、豊かで特色ある地域資源があります。SLや蓬萊橋、川越遺跡をはじめとする歴史と文化に育まれてきた多くの観光資源、高い優位性を持つ陸と空の高速交通結節機能。これに加えて、これまで培ってきた市民と行政の強い信頼関係があります。

平成28年度は、こうした市に関わる全てのものを総動員し、市民・地域団体・事業者の皆さんと一体となって、地方創生に取り組んでまいります。

特に「市民生活の安全・安心」「市民と共に夢を描く経済対策」「次世代につながる地域づくりと人づくり」という『3つの柱』を重点的に進め、積極的に投資を行っていきます。

市長施政方針

重点施策「3つの柱」

1 市民生活の安全・安心

今年度から、消防救急広域化がスタートし「早期出動体制の確立」「現場で活動する消防隊員の増員」など、さまざまなスケールメリットがもたらされました。今後も、広域化による消防体制のさらなる充実・強化を図っていきます。

また、教育環境の整備や、子育て支援・福祉・介護・医療施策を充実させ、市民が健やかに暮らせるまちづくりを進めていきます。



2 市民と共に夢を描く経済対策

新東名島田金谷IC周辺および旧金谷中学校跡地周辺地域を島田市の「躍動のエンジン」と位置づけ、高速交通結節点の優位性を最大限に生かした拠点として、整備を進めていきます。

さらに「島田市産業支援センター」を公的機関として設置し、中小企業支援や起業創業支援、販路開拓支援などを行うことで、まちづくりの主役を担う市民の皆さんをバックアップしていきます。



3 次世代につなげる地域づくりと人づくり

市のブランドメッセージ「島田市緑茶化計画（国内向け）」「SHIMADA GREEN C-TEA JAPAN（海外向け）」を発信し、官民一体となって、積極的なシティプロモーション活動を展開していきます。

地域が主体となって活動できる環境づくりを進めるために「島田市まちづくり支援事業交付金制度」の改正など、さまざまな支援策を策定し、地域力の向上を図っていきます。





女性消防団員による防火のつどい

2 市民が安全・安心に暮らせるまち

◎消防救急広域事務委託費	11 億 2,883 万円
横井中央線電線共同溝整備事業	7,100 万円
プロジェクト「TOUKAI-0」総合支援事業	5,226 万円
消防団消防自動車更新事業	3,836 万円
消防団詰所整備事業（1 分団 1 部）	3,298 万円
通信機器更新事業（デジタル式同報系 防災行政無線の基本構想策定）	1,222 万円

安心

3 産業がいきいきと活発なまち

農業基盤整備促進事業	6,155 万円
島田大祭事業費補助金	3,650 万円
茶業振興事業（茶業団体、島田市緑茶 化計画に関する補助金など）	2,672 万円
ふるさと寄附金推進経費	1,541 万円
◎産業支援センター運営事業	445 万円
◎パラグライダーパーク整備事業	430 万円

産業

茶摘採競技大会



平成28年度 主要事業



平成 28 年度当初予算に計上した主要事業について、島田市総合計画で取り組む7つのテーマに分けて紹介します（◎は、平成 28 年度新規事業）。

7つのテーマ Seven Themes

交流

1 都市基盤が充実し、ひとやもの、 情報が活発に交流するまち

東町御請線整備事業	8 億 8,500 万円
橋りょう長寿命化修繕・耐震事業	2 億 8,910 万円
コミュニティバス運行管理経費	2 億 2,742 万円
新東名島田金谷 IC 周辺整備事業 （内陸フロンティア推進区域整備 事業・賑わい交流拠点整備事業）	1 億 1,934 万円
◎牧之原公園整備事業	4,600 万円

新東名島田金谷 IC 周辺賑わい・交流拠点完成イメージ図





川越街道

6 人を育て、歴史を大切に 新しい文化を創造するまち

学校給食運営経費	5 億 9,000 万円
学校教育支援員、教育相談員など	8,985 万円
川越遺跡整備事業	6,371 万円
諏訪原城跡整備事業	3,880 万円
島田球場改修事業	2,611 万円
外国人等英語指導経費	1,597 万円
◎夢育・地育推進事業	700 万円

文化

活力

7 市民と行政がともに創る、 活力に満ちたまち～まちづくりの進め方～

市民会館解体事業	2 億 2,170 万円
過疎地域自立促進基金新規積立金	3,700 万円
公共施設マネジメント実施経費	1,618 万円
シティプロモーション推進事業	680 万円
都市提携・交流事業	528 万円
まちづくり支援事業交付金	312 万円
◎ 30 歳の同窓会事業	240 万円

協働のまちづくり研修



歯と口のフェスティバル

4 だれもが健やかで 幸せに暮らせる健康・福祉のまち

児童手当扶助費	16 億 2,081 万円
生活保護扶助費	5 億 2,072 万円
定期予防接種事業	3 億 1,794 万円
放課後児童クラブ運営事業 (川根地区へ新規開設)	1 億 629 万円
生きがい活動支援通所事業	5,033 万円
◎民間保育所建設助成事業	3,338 万円

健康

自然

5 自然と共生する資源循環型のまち

ガス化溶融施設管理運営経費	8 億 5,455 万円
リサイクル事業	2 億 979 万円
川根温泉メタンガス利活用事業	1 億 8,745 万円
污水管渠整備事業	1 億 5,479 万円
合併処理浄化槽設置事業	1 億 1,883 万円
太陽エネルギー利用促進事業	1,748 万円

川根温泉メタンガス利活用イメージ (福岡市事例)



363億3,300万円

市の予算の構成

島田市の予算は「一般会計」「特別会計」「企業会計」で構成されています。

一般会計は、まちづくりや福祉、産業経済や教育など、市の一般的な事業を行うための会計です。

特別会計は、保険料など特定の収入で事業を行う会計で、事業の収支を明確にするため、一般会計と経理を区分しています。現在、国民健康保険事業など8つの特別会計を設けています。

企業会計は、事業収入により公共の利益を目的に経営する事業の会計で、水道事業と病院事業に2つの企業会計を設けています。

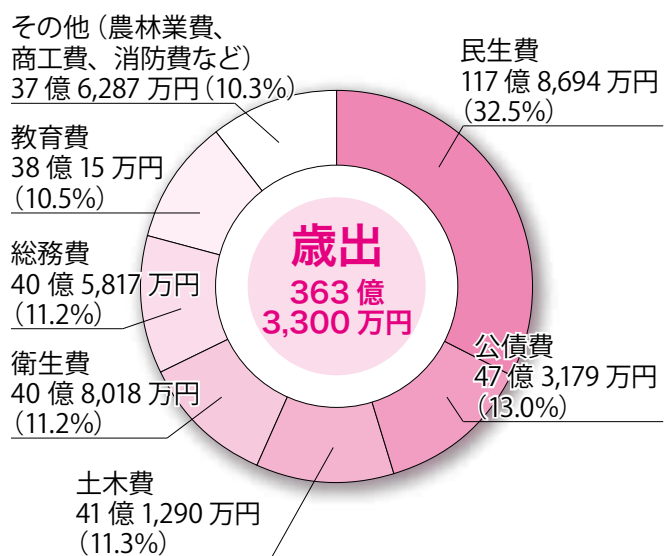
一般会計当初予算

【歳出】

民生費は、社会福祉費・児童福祉費・生活保護費の増加などにより、前年度比5億4,379万円（4.8%）の増額となっています。また、総務費は、退職手当の増加、市民会館解体事業の計上などにより、前年度比5億6,022万円（14.2%）の増額となっています。

一方、教育費は、川根小学校改築事業や初倉小学校耐震化事業が完了したことにより、前年度比10億5,158万円（21.7%）の減額となっています。

歳出の内訳（構成比：%）



※数値は、端数処理で調整してあります。

■ 市民1人当たりの歳出予算は

およそ **36万2,460円** です

民生費：約 11万7,587円
 公債費：約 4万7,205円
 土木費：約 4万1,031円
 衛生費：約 4万704円
 総務費：約 4万485円
 教育費：約 3万7,911円
 その他：約 3万7,537円

※平成28年2月29日現在の人口100,240人で算出。

会計別予算額

会計名	予算額	前年度対比
I 一般会計	363億3,300万円	△1.3%
II 特別会計	225億7,753万円	2.1%
国民健康保険事業	113億9,318万円	1.5%
簡易水道事業	1億7,698万円	△19.5%
土地取得事業	6億2,003万円	2.5%
休日急患診療事業	1,497万円	1.5%
公共下水道事業	8億3,785万円	△21.7%
介護保険事業	83億7,459万円	6.2%
介護サービス事業	7,925万円	48.5%
後期高齢者医療事業	10億8,068万円	3.6%
III 企業会計	171億5,980万円	5.5%
水道事業	16億6,141万円	△3.8%
病院事業	154億9,839万円	6.6%
合計	760億7,033万円	1.2%

歳出の性質別構成比率

性質	区分	構成比率
消費的経費 65.2%	人件費	15.9%
	物件費	20.8%
	扶助費	19.1%
	補助費等	8.9%
	維持補修費	0.5%
投資的経費 12.2%	普通建設事業費	12.1%
	災害復旧事業費	0.1%
その他の経費 22.5%	公債費	13.0%
	繰出金	7.8%
	投資及び出資金等	1.7%
予備費 0.1%		0.1%

平成
28
年度

一般会計 当初予算

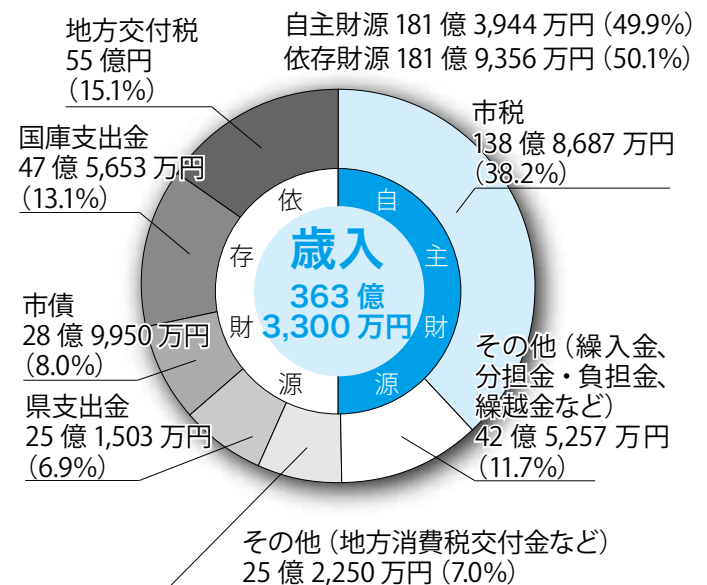
【歳入】 自主財源については、固定資産税の増を見込んだため、市税は前年度比1億4316万円（1.0%）の増額となりました。一方、基金からの繰入金が前年度比5億447万円（30.4%）の減となり、自主財源比率は、前年度から0.7ポイント低下しています。

依存財源については、福祉・社会保障関係経費の増大などを反映して、国庫支出金が前年度比2億3771万円（5.3%）の増額となりました。一方、市債は可能な限り抑制し、前年度比4億3020万円（12.9%）の減となりました。

市債年度末残高見込額

区分	残高見込額（単位：万円）		増減率
	平成 27 年度末	平成 28 年度末	
一般会計	429 億 995	415 億 8,802	△ 3.1%
国民健康保険事業	8,000	4,000	△ 50.0%
簡易水道事業	2 億 5,717	2 億 3,465	△ 8.8%
公共下水道事業	41 億 3,463	39 億 6,725	△ 4.0%
水道事業	15 億 194	16 億 3,144	8.6%
病院事業	21 億 5,128	27 億 5,720	28.2%
合計	510 億 3,497	502 億 1,856	△ 1.6%

歳入の内訳（構成比：%）



用語の解説

【歳入の部（目的別分類）】

民生費／児童、高齢者、障害者福祉など

公債費／市債の返済金と利子の支払い

教育費／学校教育や社会教育など

衛生費／保健事業やごみ処理など

土木費／道路・河川・公園の整備

市営住宅の管理など

総務費／電算システムや戸籍・住民登録、庁舎の維持管理など

【歳入の部（性質別分類）】

扶助費／生活扶助、医療扶助など

物件費／施設の保守管理および一般事務

普通建設事業費／道路の新設、改良や施設の新増築など

繰出金／一般会計から特別会計、企業会計への負担金や補助金など

【歳入の部】

市税／市民税などに市に納められた税金

繰入金／基金の取り崩しや他会計から入れるお金

分担金・負担金／保育所入園者の負担金など

地方交付税／市町村の実状に合わせ国から交付されるもの

国庫（県）支出金／国（県）からの補助金、負担金など

市債／市が借り入れるお金